

小平市公共施設マネジメントニュース

令和元年7月号

中央・小川デザインプロジェクト

みんなおいでよ！オープンハウス、地域住民及び施設の利用者・利用団体説明会

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

市では、令和元年の秋頃までに、中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の一部の複合化などに関する基本計画の策定を、市民参加で進めています。今回、基本計画素案の前段として「(仮称)中央公民館及び健康福祉事務センターの更新等に関する基本計画・(仮称)小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画 素案の方向性 (以下、「基本計画素案の方向性」という。)」をまとめました。

オープンハウスでは、公共施設マネジメントを推進する背景、これまでの市民参加の経過や「基本計画素案の方向性」の内容をわかりやすく展示し、また平成30年度に実施した中央・小川デザインカフェの参加者によるトークセッションを実施しました。

地域住民及び施設の利用者・利用団体説明会では、市から「基本計画素案の方向性」等を説明した後に、質疑応答を行いました。

オープンハウス来場者数

延べ166名(43名)※()内はトークセッション参加者数

6月29日(土)13時~17時	26名(22名)	中央公民館
6月30日(日)10時~17時	47名	中央公民館
7月5日(金)13時~17時	42名	小川西町中宿地域センター
7月6日(土)10時~17時	51名(21名)	小川西町中宿地域センター

トークセッションは
6月29日、7月6日
14時~16時で開催

トークセッションの流れ

カフェ参加者(延べ8名)をトークゲストでお招きし、2部構成で行いました。カフェの振り返りや「基本計画素案の方向性」に関してゲストにお話しいただき、時に会場からの意見も交えて進行了しました。

【第1部 カフェの振り返りに関すること】

- ・カフェに参加した感想は
- ・カフェに参加して学べたことは など

【第2部 基本計画素案の方向性に関すること】

- ・部屋機能の共有化を図ることについて
- ・新たな地域コミュニティ活動のため市民としてできること など

トークセッションの主な意見

【第1部】

- ・様々な意見やアイデアを聞いて楽しかった。
- ・自分と異なる世代の方と話げできたことが新鮮だった。勉強にもなった。
- ・時間内に意見を出し、まとめていくことが難しかった。

【第2部】

- ・面積は「1+1=2未滿」、機能は「1+1=2以上」を目指すのであれば相乗効果に関する議論がもっと必要ではないか。
- ・共有化は必要かもしれないが、これまでの活動に支障が出ないようにするべきではないか。
- ・コミュニティで既に行っている市民の活動に対し市から情報発信などすることで、さらに活発化するのではないか。



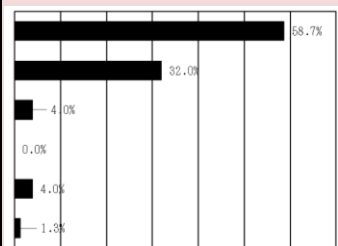
トークセッションの様子



パネル展示の様子



	回答者数	構成比
理解できた	44	58.7%
やや理解できた	24	32.0%
あまり理解できなかった	3	4.0%
理解できなかった	0	0.0%
どちらともいえない	3	4.0%
無回答	1	1.3%



オープンハウス来場者アンケートにて、「展示を見て小平市の公共施設マネジメントの取組が理解できましたか」の問いに対し、90%以上の方が「理解できた」、「やや理解できた」と回答しました。

※説明会に関しては裏面にまとめていますので、ご覧ください。

地域住民及び施設の利用者・利用団体説明会 参加者数
延べ54名

1	7月11日(木)14時~15時30分	7名	小平元気村おがわ東
2	7月11日(木)18時30分~20時	9名	小川西町公民館
3	7月12日(金)15時~16時30分	22名	小川西町公民館
4	7月16日(火)10時~11時30分	6名	中央公民館
5	7月16日(火)18時30分~20時	1名	中央公民館
6	7月17日(水)10時~11時30分	9名	福祉会館



説明会の流れ

これからの公共施設に関する3つの課題「施設の老朽化・更新時期の集中」「人口減少・少子高齢化」「財政バランスの悪化」を紹介するなど、公共施設マネジメントを取り組む背景など総論的な部分を説明しました。

その後、「基本計画素案の方向性」の内容について説明し、質疑応答を行いました。

【主な意見など】

1 中央エリア・小川エリア共通

- ①市の人口は増加している。20%の延べ床面積縮減ありきでなく高齢者等の居場所づくりが必要ではないか。
→現在、人口増加に応じて校舎増築等を行っています。ただし、ピークは後ろにずれても将来的に人口が減少することに変わりはないと認識しています。
- ②受益者負担の適正化とは、有料化のことか。
→市は集会室等使用料の減免に関する制度の見直しを検討しており、新しい施設ではその方針を踏まえて運営していきます。
- ③通路等は車椅子や障がい者が問題なく通れるよう配慮して設計してほしい。
→バリアフリーやユニバーサルデザイン等に配慮します。
- ④カフェなどの機能は必要か。民業圧迫にはならないか。
→これまでの市民参加でもカフェ等の憩いの場の要望がありました。民業圧迫するような飲食店ではなく、図書館やフリースペースでの軽い飲食程度を想定しています。

2 中央エリア (仮称) 新建物に関すること

- ①(仮称) 新建物の高さはどのくらいになるのか。現在の福祉会館のように地下をつくる予定はあるか。
→用途地域で高さ制限が25mであり、一般的に地上5階建てまでは建設できます。現時点で、地下を整備する予定はありません。
- ②(仮称) 新建物には、中央公民館の視聴覚室や調理室等、今の機能の全てを入れてほしい。これらについては、今後、市民から意見を聞くのか。
→部屋の機能を保持しつつ共有化することや、可変的な空間設計の工夫を行う等して、活動スペースの確保に努めます。基本設計の段階でも、市民の意見を聞く予定です。

3 小川エリア 小川駅西口公共床等に関すること

- ①「フラットで広めの多目的室を、再開発ビルの5階北西側に配置します。」とあるが、なぜ、この部屋だけは具体的に場所が決まっているのか。
→柱の配置など再開発ビルの構造に関わるため、再開発準備組合側から早めに広めの多目的室の位置を決めるよう要望がありました。小川デザインカフェでも、眺めの良い場所で活動したいという声が多く、5階北西側に配置する案で一致しました。なお、コンサートホールの客席のような階段形状ではありません。
- ②図書館や公民館に指定管理者制度を導入するのか。
→現時点では決まっていません。指定管理者制度導入については、「指定管理者制度の活用方針」で考えをまとめていますので、それらを踏まえて検討します。

【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp